

## 令和2年度 陽光の園 事業計画

人材確保の困難さや都市周辺部の人件費に対するに介護報酬の低さなど経営環境の厳しさは続いている。このような状況なかでも、法人理念のもと福祉人材の確保・育成を基本に捉え、厳しい経営環境に立ち向かう組織になるよう取り組む。長年にわたり築いてきた福祉サービスを基本に現状の利用者ニーズや地域ニーズを的確に捉え、生産性を高めつつ時代で求められる福祉サービスを確実に提供することにより経営改善を果たしていくものとする。

### サービス目標

- (1) 入所・短期利用者の高齢化・重度化に対応して、昨年度着手した食事・排泄の見直しを着実に進める。さらに、入浴等のサービス提供見直しに着手し、時間帯も含めたサービス提供体制の再構築を図る。また、医療的ケアや認知症ケアの資質向上に努める。
- (2) 独居世帯の増加等複雑化・多様化する地域ニーズに対して、引き続き、地域包括支援センター・居宅介護支援サービスが着実に的確に对应していく。昨年取り組んだ通所介護サービス改善を引き続き推し進め、評価システムの導入に取り組む。箱根山荘や筋トレ事業はもとより、他事業所との連携の充実に努め在宅サービスの充実を目指す。
- (3) 質の高いサービスを目指す施設に相応しいハード面の再整備に取り組む。空調・ボイラー・照明の設備の更新を行う。また、周辺環境を把握し、リスクに強い施設になるように努める。

### 目標達成にむけての重点課題

#### (1) 業務力向上の取り組み

- 重度化に対応した業務シフトを模索するとともに、介護機器の見直しなど生産性を高められる業務提供体制の再構築を行う。
- 無駄を省き、同職種間および多職種間で効率よく情報伝達、記録をするための記録の電子化を実際に取り組む。
- 災害をはじめ事故・感染症対策など、実際のリスク体験に基づき改定しているマニュアルを実践訓練等により徹底する。

## (2) 組織力強化と財務状況の健全化

- 理念に基づく各職位の職員像を明確にして職員の資質向上に取り組むとともに人事調整を行い各部署の組織力を高める。同時に入所・ショートステイ・デイサービス等の一体的運営を基本に多職間協働体制を推進する。また、会計事務所や弁護士および業界団体等外部の専門化との連携を深め、効率的かつ強力な組織を目指す。
- 現実的ライフスタイルに合った就業規則等の改定や職員の健康管理の強化に引き続き取り組むとともに労務管理体制を整備し、労働環境の向上を図る。
- 利用率の維持・向上を基本に職員の処遇改善も含めた加算の確実な実施により、職員の処遇向上と財務バランスの健全化を進める。また、部署毎に計画を立て取り組んでいる収支改善計画を着実に実施する。

## (3) 人材育成・確保の取り組みの継続

- 時代の変化や職員の多様な働き方に対応した職務基準を明確にして法人のキャリアパスシステムの見直しを行う。それに伴い、評価のあり方、給与体系および研修体系の見直しに取り組む。
- 上記取り組みを基本に新たな外国人材の受入制度や介護助手制度の流れを見据え人材確保の幅を広げ、中期的視点に立った法人の人材確保対策を検討する。

## 部署別事業計画

### 介護課

#### (1) 入所介護 3 階

- ・ 高齢化や重度化に対応すべく、食事・入浴支援サービスにおける現状把握と課題を抽出し支援方法と体制を見直す。そのうえで、継続的な業務改善の実施。また、個性と多様性のある現在の認知症ケアにおけるケア視点の専門性・アセスメント力の向上
- ・ 効率的な情報伝達・記録の電子化の実現にむけた準備段階へのアプローチ
- ・ 職員が働きやすく、モチベーションの維持・向上につながる風土・チームワークづくりを行う。また、風通しの良いコミュニケーションが連携強化を図り、情報共有や組織力向上につなげる。
- ・ 指導・育成力・伝達力の向上／ボトムアップ

#### (2) 入所介護 2 階

- ・ 入浴と食事も含めた重度化に合わせたプログラムの見直し
- ・ 電子化の導入に合わせた職員の業務の合理化を図る。
- ・ 有給休暇のあり方、特にリフレッシュ休暇として活用できるように検討する。
- ・ キャリアパスと連動した人材育成環境を継続的に組み立てる。

#### (3) デイサービス

- ・ 事業所・地域連携を強化し、利用者の確保と運営の安定に寄与する。
- ・ 個別ケアの実践、評価の共有を実施する。
- ・ 要支援から機能訓練のニーズに応えるとともに、訓練評価を多職種で取り組む。
- ・ 介護度の高い利用者への総合的なサービスの提供
- ・ キャリアパスと連動した人材育成環境を継続的に組み立てる。

#### (4) 相談、施設ケアマネ

- ・ 職位・職責を理解し同職種協働体制を強化するとともに、多職種協働体制を各部署に理解を求めつつ推進する。
- ・ 事業所連携・地域連携を強化して利用者の確保と経営の安定
- ・ 法人が行っているサービスの理解と情報の共有を行い相談員間での連携を強化する
- ・ 医療依存度の高い、認知が重い方を含めた困難事例も出来る限

## 部署別事業計画

### 介護課

#### (1) 入所介護 3階

- ・ 高齢化や重度化に対応すべく、食事・入浴支援サービスにおける現状把握と課題を抽出し支援方法と体制を見直す。そのうえで、継続的な業務改善の実施。また、個性と多様性のある現在の認知症ケアにおけるケア視点の専門性・アセスメント力の向上
- ・ 効率的な情報伝達・記録の電子化の実現にむけた準備段階へのアプローチ
- ・ 職員が働きやすく、モチベーションの維持・向上につながる風土・チームワークづくりを行う。また、風通しの良いコミュニケーションが連携強化を図り、情報共有や組織力向上につながる。
- ・ 指導・育成力・伝達力の向上／ボトムアップ

#### (2) 入所介護 2階

- ・ 入浴と食事も含めた重度化に合せたプログラムの見直し
- ・ 電子化の導入に合せた職員の業務の合理化を図る。
- ・ 有給休暇のあり方、特にリフレッシュ休暇として活用できるよう検討する。
- ・ キャリアパスと連動した人材育成環境を継続的に組み立てる。

#### (3) デイサービス

- ・ 事業所・地域連携を強化し、利用者の確保と運営の安定に寄与する。
- ・ 個別ケアの実践、評価の共有を実施する。
- ・ 要支援から機能訓練のニーズに応えるとともに、訓練評価を多職種で取り組む。
- ・ 介護度の高い利用者への総合的なサービスの提供
- ・ キャリアパスと連動した人材育成環境を継続的に組み立てる。

#### (4) 相談、施設ケアマネ

- ・ 職位・職責を理解し同職種協働体制を強化するとともに、多職種協働体制を各部署に理解を求めつつ推進する。
- ・ 事業所連携・地域連携を強化して利用者の確保と経営の安定
- ・ 法人が行っているサービスの理解と情報の共有を行い相談員間での連携を強化する
- ・ 医療依存度の高い、認知が重い方を含めた困難事例も出来る限

り受けていく

- ・ 地域のニーズを的確に捉え各サービスに確実に繋げる

#### (5) 機能訓練

- ・ 職位・職責を理解し同職種協働体制を強化するとともに、多職種協働体制を各部署に理解を求めつつ推進する。
- ・ 個別性を意識した訓練計画の立案と実施
- ・ 確実な個別機能訓練加算の取得
- ・ 魅力あるデイサービスの構築に寄与する。

#### (6) 医務室

- ・ 入居者の重度化に伴い看取り及び褥瘡指針・マニュアルを多職種で実用的なものに変更していく。
- ・ 記録の電子化による医務室間および多職種間で情報伝達を効率的に行えるよう記録の整理を行う。
- ・ 感染症対策の見直しを行い、実用的なマニュアルに変更していく。
- ・ 職位・職責を理解し、職員の業務分担を見直す

#### (7) ケアマネ室

- ・ 利用率の維持向上
- ・ 複雑な家庭環境であっても、在宅での生活が続けられるよう包括
- ・ ケアマネとして職務遂行力を高める。
- ・ 災害時における在宅生活者への支援を模索する

#### 業務管理課

##### (8) 事務チーム

- ・ 介護報酬や加算に誤りがないようにする。未収金者を無くしていく
- ・ 事務の効率化や経費削減に取り組む
- ・ 職員の評価システムの構築と賞与体系との連携

##### (9) 栄養調理チーム

- ・ 食事サービスの取組み
- ・ 信頼ある食事提供
- ・ コスト削減と消費税の取組み
- ・ 人材の育成、確保の取組み

#### 地域包括支援センター

- (10) ・ 地域住民による自主活動、包括主催によるサロン活動を基盤に、新

## 令和2年度 軽費老人ホーム 箱根山荘 事業計画 (案)

消費税アップを起因とする外部環境の変化や、建物の老朽化を起因とした内部環境の悪化と入居者の高齢化と体力の虚弱化によって、軽費老人ホーム箱根山荘の運営は厳しいものとなっている。

このような中でも、ご入居者に生活を安楽に送っていただくためにも、これまで以上に「感染予防」「健康維持増進」「介護予防」を重点目標に掲げて、以下の目標を達成するよう事業を展開する。

### <基本目標>

より安心・快適な生活環境の整備を目指す

### <運営方針>

- (1) 入居者の人格・個性を尊重し、円満かつ家庭的な雰囲気づくりに努める。
- (2) 入居者が日々楽しく、安心・快適に過ごせるように工夫する。
- (3) 高齢者の生活施設として、入居者の健康管理に留意する。

### <重点項目及び重点事業>

- (1) 介護予防に向けた事業の展開について
  - ① 長寿大学の充実強化  
生きがいのある充実した生活を送っていただくため、一部見直す。
  - ② 生きがい活動の発掘  
居住者の持たれている技術・趣味等を発揮できる場を提供する。
- (2) QOLの維持向上について
  - ① ひな祭り等の伝統行事や、買い物送迎などを計画的に開催してQOLを高める。
  - ② 食生活と健康管理を見直して、健康維持に努める。
- (3) 法人創立50周年に向けて
  - ① 記念事業を検討する。
  - ② 老朽化した設備・備品の保全、修理に努める。
- (4) 運営体制の強化を図ります
  - ① 各委員会の活動と職員の研修を積極的に行って、職員の質の向上に努める。
  - ② 入居者の介護度重症化に伴い、個別援助できるよう、支援方法を再考する。
  - ③ PR活動を積極的に行う。

### <事業計画>

#### I. 介護予防に向けた事業の展開について

- (1) ケース会議のあり方を検討し、個別の支援方法を再考する。
- (2) 長寿大学やクラブ活動を見直し、参加者の増員等、充実強化を図る。

- (3) ラジオ体操、にこにこ体操で残存機能を維持し、転倒予防や栄養改善に努める。
- (4) 山荘周辺の清掃や庭木の手入れ等、入居者の環境美化活動を推進する。
- (5) 居室内での編み物や雑巾縫い等、入居者の個別の活動を援助する。

## II. QOLの維持向上について

### (1) 自立生活支援

- ① 厚生労働省のガイドラインに即し、個人情報保護、高齢者虐待防止等に留意し、入居者の人権を尊重するための活動を積極的に行う。
- ② お正月、ひな祭り等昔からの伝統行事や、クリスマス会、買い物送迎、誕生会、敬老祝賀会、ファミリー会、誕生日外出支援等、一部内容を見直し開催する。
- ③ 入居者との話し合い・懇談会等を通して入居者の意見を、運営及び事業に反映する。
- ④ 自立度低下の入居者にも細やかに個別の援助体制を強化し、病院受診の付添いや受入先の確保も行う。
- ⑤ 山荘の生活が困難となった利用者の生活の場を確保するため、近隣事業所や病院との連携を強化する。

### (2) 給食

- ① ADLに応じた給食体制とし、適正な食事摂取基準の確保を図り、山荘喫茶や適温給食の充実を図る。
- ② 嗜好調査や残菜調査を行い、入居者の食事提供に活用する。
- ③ 厨房の衛生状況を適時把握して、感染予防を適切に行う。
- ④ 厨房の備品・機器の老朽化に対応する。

### (3) 保健衛生

- ① 基本健康診査で血液検査、心電図等を実施し、血圧、体重測定は月 1 回実施して入居者の健康管理を推進する(採血年 2 回)
- ② 感染症予防の強化策を再考し、感染しにくい環境を保持する。
- ③ 朝のラジオ体操・棒体操・にこにこ体操、散歩等の励行により基本的な健康の充実を推進する。
- ④ 協力医療機関と連携して、救急の場合も含めた医療の充実を図る。
- ⑤ 布団乾燥、害虫駆除、清掃援助を実施し環境美化を推進する。

## III. 運営管理について

- (1) 諸会議及び各種委員会の運営の効率化を図る。
  - ・ 諸会議の開催では会議録を適切に作成し、保存する。
  - ・ 会議録は全職員に回覧し、利用者の求めに応じて閲覧可とする。
- (2) 諸会議及び各種委員会の活動内容は適時研修会を行って、全職員に共有する。

(3) 各種委員会の開催について

衛生委員会、防災委員会、広報委員会は従来活動を継続して実施する。今年度神奈川県監査で指摘を受けた以下の委員会は、指摘事項に従って委員会活動にあたり併せて研修会を企画し運営する。

・苦情解決委員会

入居者等からの苦情に関して多角的な観点から検討し、施設サービスの改善を図る。そのため、目安箱（ご意見箱）を設置、随時入居者からの声を聞き改善に努める。

・事故防止委員会

入居者の安全対策及び施設のリスク管理の向上のため、事故事例の分析・検討、事故防止対策を検討し、研修会を企画・運営する。

・虐待防止及び身体拘束廃止委員会

入居者の人権擁護を推進するため、山荘で適切な処遇、接遇がなされているか適時観測し、修正を加えるために活動し、研修を企画・運営する。

・身体拘束等適正化委員会

万一、身体拘束を行わなければならない場合に、必要最小限の、適切な方法で最小の期間でなされるよう監視するための活動と研修会を企画・運営する。

(4) 職員研修体制の確立

① 箱根山荘内外の研修に積極的に参加して職員資質の向上、特に職務を通じた研修（OJT）による実務の充実を図る。資格取得も含めた人材の育成を推進する。

② 他施設への研修に参加するなど、人事交流についても検討する。

(5) 地域社会との交流を深めます。

① 地域で開催される行事等にも積極的に参加し、交流を深める。

② ボランティアの受け入れを行う。

③ 行事等に地域の方々の参加を受入れる。

(6) 各種設備・機械の整備・点検を実施する。

開設後半世紀近くとなり設備・機械類の老朽化に起因する水漏れやトイレの事故が多発しているため、整備・点検を実施する。

(7) その他

・見学会の実施を随時行う。

以上(文責清水)